

令和6年度
「すまい職人きらりアップ体験出前授業」
実施報告書

青森県住宅リフォーム推進協議会
青森県県土整備部建築住宅課

1. 出前授業の目的

青森県住宅リフォーム推進協議会※¹と青森県は、「青森県すまい職人きらりアップ計画」に基づき、子ども達が、住宅（すまい）ができるまでの過程を知ることや、すまいづくりに携わる職人とのふれあいをとおして、職人という仕事に理解を深め、興味や関心を高めることにより、すまい職人を目指すきっかけづくりを行うことを目的とする。

※1. 住宅リフォームの関連団体等が、一体となって住宅リフォームの推進に向けた事業を展開し、県民が安心してリフォームできる環境を整備するとともに住宅リフォーム関連業界への健全な発展を図ることを目的として組織。
<会長>飯田善之県建築士会会長 <事務局>青森県建築士会

2. 出前授業の実施概要

1) 実施期間

令和6年7月から12月まで

2) 実施校等

県内の小・中学校（8校）

3) 対象学年

小学校4学年～中学校3学年

4) 講師

県立弘前高等技術専門校、県立むつ高等技術専門校、青森県県土整備部建築住宅課

5) 基本プログラム

<1時間目>

- ①すまいについての講話
- ②すまいができる過程とすまい職人の紹介（DVD※²視聴）
- ③大工道具の使い方、木材の説明

<2時間目>

- ④講師による木材加工組立の実演
- ⑤児童生徒による木材加工組立の体験、ベンチ制作
- ⑥まとめ

※2. DVD「未来を造るすまい職人たち」

平成21年度の「すまい職人きらりアップ体験モデル事業」（弘前市立第三中学校敷地に建築した休憩所（木造約3坪）について、弘前工業高校の生徒が設計、弘前高等技術専門校の学生が施工を体験したもの）の記録の中から、建物がどのようにできるのか、また建物をつくるためにどのような職人がかかわっているのかを取りまとめた教材。

<対象>小学校高学年、中学校<時間>15分

弘前市立 常盤野中学校

実施日：令和6年7月10日（水）

講師：弘前高等技術専門校

県土整備部建築住宅課

学年：1～3学年

時間：5～6校時

参加者：10名

教科：技術家庭



家を作るにはいろいろな職人さんと技術が必要
なことが分かりました。それと職人さんへの家
への思いも感じました。
（1学年）

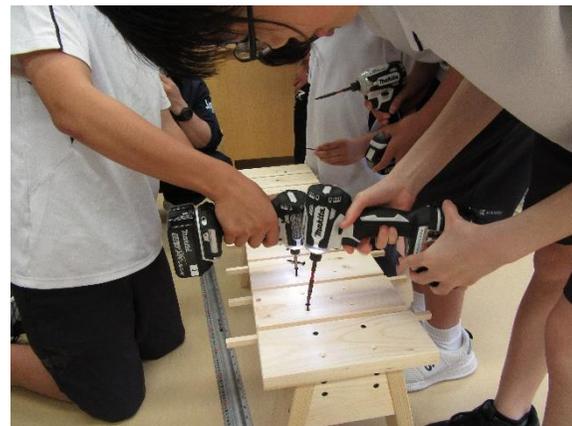


たった一つの家づくりにこんなにたくさんの職
人がかかわっていて驚きました。お父さんが建
築系の仕事をしていて、どんな作業をしている
か疑問に思っていたので知ることができてよ
かったです。（3学年）

技術家庭科で取り組んでいる木材加工との関連
も含め、自らの勤労観・職業観を形成し確立す
る指導の充実を図るうえで有意義であった。
（担当教諭）



かなは木材をけずる感覚がとても楽しく、け
ずった後の木はつるつるで驚きました。（3学
年）



中泊町立 小泊中学校

実施日：令和6年7月16日（火）

講師：弘前高等技術専門校

県土整備部建築住宅課

学年：1～3学年

時間：5～6校時

参加者：33名

教科：技術



今回の授業はこれからの生活に役立つので、今度学んだことを生かして、何か作ってみたいと思いました。すごく楽しかったです。
（1学年）



普段目にすることのない職人さんの技術を見て、生徒たちはとても興味を持ち、意欲的に取り組んでいました。実際に工具を使ってみることで、職人さんの技術の高さに驚嘆していました。また、ものづくりや職人という仕事に関心を持つことが出来ました。（担当教諭）

私はもともと大工に興味があって「やってみよう」が多く、知っていくうちにやめた方がいいのかなと思うようになっていましたが、DVDを見て、大工以外にもかかわる職人があることを知れたし、女の人もいることが分かり、さらにやってみようという思いが強くなりました。
（2学年）



DVDでは住宅を作るには多くの職人が係わり、先人が考え出した知恵が今も伝統として受け継いでいった素晴らしい日本の文化でもあることを学ぶことが出来ました。（3学年）



つがる市立 稲垣中学校

実施日：令和6年8月29日（火）

講師：弘前高等技術専門校

県土整備部建築住宅課

学年：1学年

時間：5～6校時

参加者：17名

教科：総合学習、技術家庭



僕はビデオを見て「まあいいか」では終われないというのを聞いて魅力のある仕事だと思いました。かんながけはうまくは出来なかったけど楽しめました。



住まいにかかわる様々な業種の職人の姿を学べてよかったと思います。木材の切削（かんながけ）、接続体験（インパクトドライバ）は授業ではなかなか体験しづらい内容なので大変貴重な体験になったと思います。

（担当教諭）

楽しかったことは、かんな掛けです。1回目はうまくいかなかったけど2回目からだんだんできるようになりました。
勉強になったことは「mm」で読まずに「寸」「尺」で目盛を読んだことです。



木を数ったり、木を切るとは自分が考えてる以上に難しいことなんだと分かりました。今回の授業では知らなかったことをたくさん知ることが出来たので良かったです。



平内町立 東小学校

実施日：令和6年9月8日（金）

講師：むつ高等技術専門校

県土整備部建築住宅課

学年：4学年

時間：3～4校時

参加者：7名

教科：技術



木と木をつなぐ加工の時、つなぐのが難しかったです。



今日は鋸で木を切るのが難しかったけれど、後ろに引くときに強くやると良いよと、教えてもらい簡単に切ることが出来て嬉しかったし、楽しかったです。

ただの体験会ではなく、大工という職に興味を持たせることが出来、ほとんどの子たちが大工という職やものづくりをしてみたいという意欲を持つことが出来ました。（担当教諭）



のこぎりをやる時は、刃と鼻の位置を同じにすると分かりました。かなは引き終わったらあったかいのがびっくりしました。



三戸町立 三戸中学校

実施日：令和6年11月11日（月）

講師：むつ高等技術専門校

弘前高等技術専門校

県土整備部建築住宅課

学年：2学年

時間：5～6校時

参加者：59名

教科：技術



かながけがとても難しかったけど、何回もやっとうまくいったときがとても楽しかったです。



知らなかった職業について、生徒たちが知識を深めることができました。日本の課題として、第2産業の就業者数の低下があると思いますが、建設業に関心を持つことが出来たのではないかなと思います。（担当教諭）

ひとつひとつの作業がすべて力仕事で大変でした。自分が思っていたよりも一つの組み立てに色んな人が関わっていて、ありがたさを感じました。また、使われていた道具も多くてびっくりしました。一つの建物に色んな職人がいたのが驚きました。



今回の出前授業で1つの家を作るにはたくさんの人が協力して最後まで仕事をやりきっていることがすごいと思いました。かなは思った以上に難しくてうまくできなかったけどすごく楽しかったです。



八戸市立 大館中学校

実施日：令和6年11月29日（金）

講師：むつ高等技術専門校

弘前高等技術専門校

県土整備部建築住宅課

学年：2学年

時間：5～6校時

参加者：104名

教科：技術



木材や道具の説明や体験が面白かった。DVDを見て少しすまい職人に興味が湧きました。体験では特にかんなが難しく、これを素早くできる職人がかっこいいと思いました。



DVDを見て、家を建てる時に必要なのは大工さんだけで全部やっていると思ったので、チームワークが大切だと思いました。大工さんはとても難しい職業だと思いました。

杉の木とヒバの木を1つにするという技術はとても興味深かったです。男子5人が載ってもおれなかったのがすごいと思いました。昔からある日本の技が今の時代でも、活用できるなんて大工さんの腕は今も昔もすごいんだなと感じました。



職人という仕事をしてもらういい機会になり、ものづくりの楽しさを知ることが出来ました。（担当教諭）



平川市立 碓ヶ関小学校

実施日：令和6年12月6日（金）

講師：弘前高等技術専門校

県土整備部建築住宅課

学年：5～6学年

時間：5～6校時

参加者：17名

教科：技術



定規で丸いものを図れるのにびっくりした。



かんな掛けをする時に最初は曲がったりして難しかったけれど、3回やってコツをつかんで綺麗に出来るようになった。

キャリア教育として、どんな仕事があるか、どんな考え方で仕事をしているか、どうすればその仕事ができるかということを見童に理解させることが出来た。見童にとっては将来を考える選択肢の一つになったと思う。（担当教諭）



定規に干支が書いてあるのを初めて知った。家にあるものも見てみたい。

